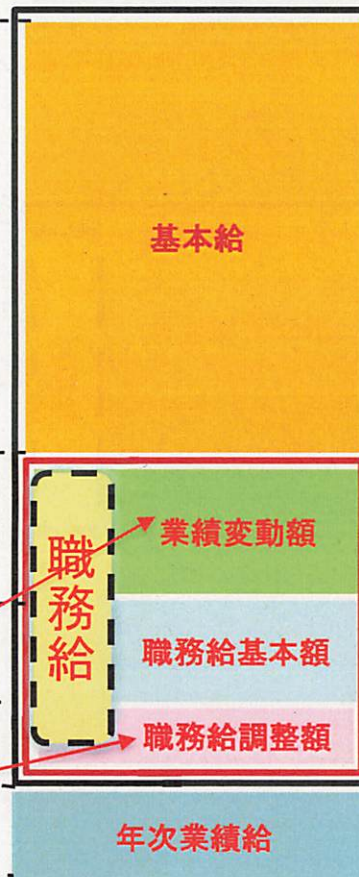
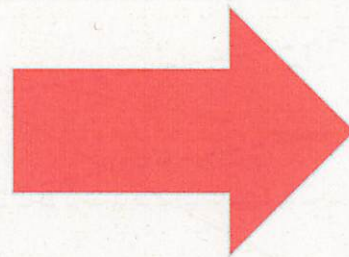
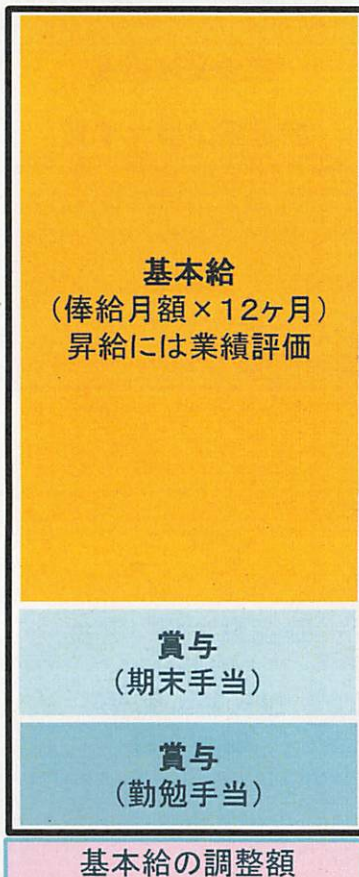


# 【年俸制適用職員給与規則改正案】 月給制と新年俸制との比較について(案)



## 従来の月給制

## 年俸制(退職金有)

基本  
年俸

年俸

現時点の給与の  
保証を想定

業績給

管理職等手当

諸手当

特定業務手当

諸手当

インセンティブ(外部資  
金獲得等)インセンティブに  
よる年収増年俸制移行後も退職  
手当は支給

退職時

退職手当

退職手当



# 【年俸制適用職員給与規則改正案】

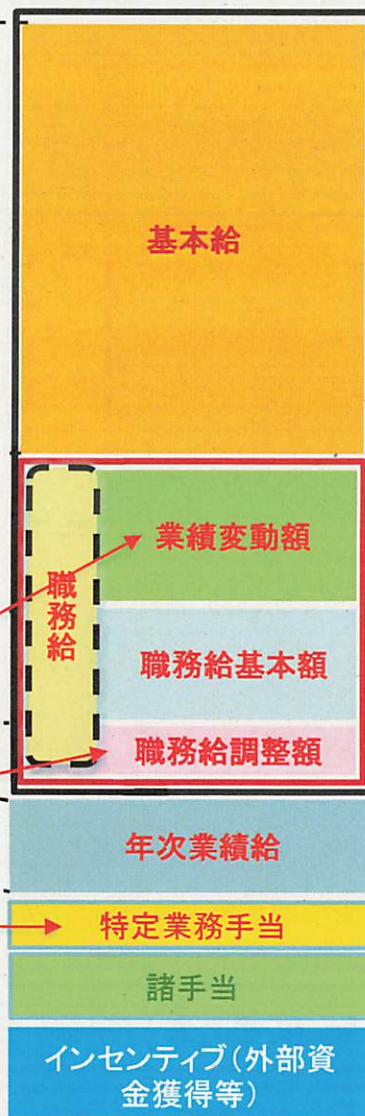
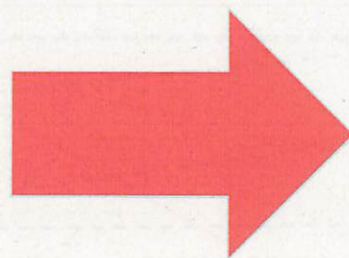
現年俸制(年俸制導入促進費無しの教員)と新年俸制との比較  
について(案)



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

現年俸制(退職手当無し)

年俸制(退職金有)



基本  
年俸

年俸

業績給

退職時

退職手当

年俸制移行後は退職手当を支給  
(現年俸制であった期間は除算)



# 【年俸制適用職員給与規則改正案】 新年俸制(案)について



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

## 年俸制(退職金有)

KITあり

年額で設定し、  
年12回に分けて支給

基本  
年俸

年1回支給

業績給

基本給

業績変動額

職務給

職務給基本額

職務給調整額

年次業績給

特定業務手当

- 教員の生活基礎的な給与として支給
- 全職種に共通して適用する基本給表を作成
- 助教相当職に係るモデル給与の年間給与額の70%で設定

※モデル給与:

- ・博士後期課程修了直後に助教採用(助手は学部卒業直後の採用とするため、助教採用時の初任給より減額)
- ・4年に1回特別昇給
- ・55歳以上昇給制限
- ・64歳以上昇給停止
- ・助教のままで65歳定年退職

- 各職位に求められる職務の程度に応じた給与として支給
- 職位ごとに給与表を設定。
- 月給制教員に係る各職位の定年までの給与+賞与モデルを設定し、当該モデルに係る3年間ごとの給与及び賞与の合計額より、新年俸制に係る3年ごとの年俸額の合計額が同等以上となるような額を算出した上で、その額に、月給制教員に係る基本給の調整額(調整数1)に相当する額を加えた額を業績変動額として設定。
- 初回の給与決定は、職種及び経験等に応じた額に決定し、以降、3年間の年次業績評価結果を踏まえ昇給する。
- 評価結果が不良の場合は、昇給しない又は降給する場合がある。
- 助手、助教、講師、准教授については、57歳相当の額を上限とする。
- 教授は、57歳相当の額を上限するが、成績が優秀な場合に限り、更に上位の額への昇給が可能。

- 月給制教員に係る期末手当及び基本給の調整額(調整数1)の合計額に相当(同様の計算方法により算出。)
- 算定期間中の勤務状況によって減額される場合あり。(職務給基本額のみ)

- 月給制教員に係る勤勉手当に相当(同様の計算方法により算出。)
- 年次業績評価の結果に応じて支給額が変動する。

- 副学長、研究科長、学域長等の職にある者に支給(管理職等手当の名称変更)